

「ヘブル語初級 A」 4単位 金曜日 山本康弘

「ヘブル語初級 A」では、ヘブル語の基礎を学びます。まず、ヘブル語の文字の書き方と読み方を学びます。つぎに、文法を学びながら簡単な聖句を実際に読んで解釈する練習を行い、また辞書の引き方を身に着けます。そして今回は、創世記 1 章と一緒に繰り返し朗読して旧約聖書の深さ、広さを理解する様にしたいと思います。またヘブル語を知ること、新約聖書を理解する力となります。それは、新約聖書がヘブル語旧約聖書と七十人訳ギリシャ語旧約聖書およびユダヤ教を母胎として書かれたからです。それゆえ、新約聖書の思想や概念の元となっているヘブル語を知ることによって、その本当の意味を自分自身で理解することが出来るようになるものと思います。なお教材と推奨辞書は下記の通りです。

教材:「聖書ヘブライ語文法」(改訂版) 小脇光男著、青山社(Tel. 042-765-6460)

推奨辞書:A Concise Hebrew and Aramaic Lexicon of the Old Testament, ed. William L. Holladay, William B Eerdmans Publishing Company.

「礼拝学 I」 4単位 金曜日 北島靖士

「礼拝史」をたどりながら、過去、現在、将来の礼拝の課題を考えます。毎回、資料を配布する。テキストは用いないが、参考書を多数紹介します。

「キリスト教音楽史 I」 4単位 土曜日 伊藤真知子

「キリスト教音楽」という言葉は、何らかのキリスト教的内容を持つ、あるいは想起させる音楽を、他の一般の音楽と区別するために用いられます。キリスト教が生まれてから今日に至るまでの二千年にわたる神学的、歴史的、社会的、そして詩や音楽を含む各地域の文化的影響を強く受けながら、複雑に変遷してきた音楽全体の総称です。キリスト教音楽史 I では、古代からルネッサンスまでのキリスト教音楽の起源と変遷を学びます。

「作曲・編曲」 4単位 土曜日 十時節子

音楽の調性、メロディー、リズム、和声など作曲の基本を学んでいく。編曲に関しては合唱曲への編曲、器楽曲への編曲、コンテンポラリーな音楽への編曲など、さまざまな音楽に対応できるスキルを習得していく。またそれに必要な楽器の音域、楽譜の書き方、できれば PC 音楽ソフトの使用方法も学べるようにしたい。編曲・作曲の作品提出が必須。

資料:新生讃美歌

テキスト:・新版 実用和声学 ー旋律に美しい和音をつけるためにー中田喜直 著 音楽乃友社

・教会音楽ハンドブックⅢ 岩坂憲和・大谷レニー・木村敏子・水口憲子・D・A モック 共著

日本バプテスト連盟発行

「教会音楽教育(聖歌隊活動)」 4単位 土曜日 岸本敬子

教会音楽の働きをベースに、聖歌隊の使命と目的、指導者(指揮者)の役割と指導法、リーダーとして必要な訓練などの学び。また、これから聖歌隊を組織する場合に必要な準備や、様々な状況の中での実際の練習方法についても学びます。

「教会音楽実践 I」 4単位 土曜日 菊地るみ子

教会音楽ミニストリーの基礎と組織、指導法、プログラム計画、予算の立案。音楽関係器材の購入と管理。音楽事務管理。等を学ぶ。テキスト:新生讃美歌・聖書・「活力ある教会づくり」(日本バプテスト連盟)・レポート提出

「合唱」 2単位 土曜日 菊地るみ子

合唱は神学校の学生、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位の履修のためには、授業出席の他、自分の教会のプログラムに参加し、教会音楽に関するレポートを学期内に一回提出すること。音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。教会音楽科の学生は本コースの履修を必修とする。

神学特講・夏期講座「牧会学“いと弱き者と共に”」 2単位 井本義孝 日時:2016年8月11日(木)~13日(土)

福祉の仕事そのものが、キリストの教えの実践そのものであることを、理解しなければならぬ。伝道(教会形成)と福祉、二足の草鞋の50年を証しつつ、主として【1】「ドイツの福祉の町ベートル」はいかにして形成されたか。【2】日本の近代化と福祉の先覚者たち。【3】障害者と呼ばれる人々と、ノーマライゼーション。【4】国際障害者年とニュールンベルク大会。等を考察する。【1】については近く創立150周年を迎えるにあたり、その理念と現代における存在意義を考えたい。【2】についてはベートルのスタートが、明治時代とほぼ同じなので、当時の福祉の先覚者たち、特に留岡幸助、賀川豊彦の働きについて学ぶ。【3】については知的障害(児)者福祉に尽力された糸賀一雄を中心に論じたい。なお時間に余裕があれば「いのち」の電話の創設とミッドナイトミッションのぞみ会の現状について紹介する。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp



2016年度 東京バプテスト神学校受講案内 本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
* 願書に必要事項を記入の上、3月11日(金)までに郵送(必着)してください。
* 入学及び聴講希望者は牧師の推薦が必要です。
* 専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。

【試験面接】 3月24日(木)午後6時30分
* 受験料 10,000円(入試面接時に納付してください。但し1科目のみ試験聴講の方は不要)。
* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】
4月8日(金)午後7時 於:茗荷谷キリスト教会
* 受講手続きがあるので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・前期 4月11日(月)~9月30日(金)
<夏期休業 8月1日(月)~8月31日(水)>
・後期 10月10日(月)~2017年3月31日(金)
<冬期休業 12月19日(月)~2017年1月5日(木)>

【休業日】 主日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分
(但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分)

【入学金】 ・本科入学金 100,000円
・信徒リーダー養成コース 50,000円
・専攻科入学金 50,000円(但し外部入学の場合は100,000円)

【受講料】 ・本科生・信徒リーダー養成コース生 1科目4単位25,000円、2単位12,500円
・本科聴講生 1科目4単位30,000円、2単位15,000円
・専攻科 年間150,000円
・卒業生聴講 1科目4単位25,000円、2単位12,500円
(*卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

【設備費】 一律10,000円(年間)

【聴 講】 ・どの科目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した科目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある一科目だけ受講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。

【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり10,000円の通信事務費が必要です。

2016 年度前期開講課目

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	ギリシャ語中級・原典釈義	4	専攻科	渡辺聡
月	教会史Ⅰ	4	共通選択	内藤幹子
火	組織神学Ⅰ	4	本科必修	廣島尚
火	聖書解釈学	4	本科選択	川口通治
木	宗教学	4	本科選択	東方敬信
木	旧約聖書概論	4	本科必修	魯考錬
木	指揮法Ⅲ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
金	ヘブル語初級 A	4	本科選択	山本康弘
金	教会音楽概論	4	本科・音楽科必修	江原美歌子・小松澤恵
金	礼拝学Ⅰ	4	本科選択	北島靖士・内藤淳一郎・矢野満
土	キリスト教音楽史Ⅰ	4	本科必修	伊藤真知子
土	作曲・編曲	4	音楽専攻科必修	十時節子
土	教会音楽教育(聖歌隊活動)	4	本科必修	岸本敬子
土	教会音楽実践Ⅰ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
土	合唱	2	共通	菊地るみ子
	教会実習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
夏期	神学特講(いと弱き者と共に)	2	共通選択	井本義孝

2016 年度後期開講課目

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(予定)
月	ヘブル語初級 B	4	本科選択	山本康弘
月	教会史Ⅱ(宗教改革—現代)	4	本科選択	内藤幹子
火	旧約聖書神学概論	4	本科選択	魯考錬
火	礼拝学Ⅱ(礼拝実践)	4	専攻科必修	北島靖士・内藤淳一郎・矢野満
木	組織神学Ⅱ	4	共通選択	廣島尚
木	人間関係論	4	共通選択	古家良子
金	説教演習	4	神学専攻科必修	内藤淳一郎
金	神学入門	4	本科必修	北島靖士・川口通治・坂元幸子・矢野満
土	合唱	2	共通	菊地るみ子
土	キリスト教音楽史Ⅱ	4	本科必修	伊藤真知子
土	教会音楽実践Ⅱ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
	卒業論文	4	神学専攻科必修	各担当講師
	卒業演奏	4	音楽専攻科必修	江原美歌子
冬期	神学特講(いと弱き者と共に)	2	共通選択	井本義孝

2016 年度前期課目案内

「ギリシャ語中級・原典釈義」 4単位 月曜日 渡辺 聡

練習問題を通じて実際のギリシャ語の単文を訳します。

教科書:大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』(岩波書店、2004年)

ワークブック:Basics of Biblical Greek Workbook 3th (third) edition 2009 by William D. Mounce

辞書:A Greek-English Lexicon of the New Testament and Other Early Christian Literature, 3rd Edition Jan 15, 2001 by

Walter Bauer and Frederick William Danker

「教会史Ⅰ」 4単位 月曜日 内藤幹子

本講義においては、受講者が古代～中世におけるキリスト教史の流れを的確に把握できるようになることを目標と致します。キリスト教史そのものと同時に、他領域(教義学など)の理解を深める内容を展開できるよう努力致します。担当講師が毎回資料を用意致しますので、特定のテキストの購入は不要です。必要に応じて参考文献を紹介致します。評価は「出席」「発表」(1回)を基準とします。

「組織神学Ⅰ」 4単位 火曜日 廣島 尚

神、キリスト、聖霊、創造、救済。これらのテーマについて、聖書を基に教会の観点から、それぞれが思考しつつ、自分の信仰を建て上げていくことを目指します。「教義学」という答えを学ぶのではなく、個々人・各教会の信仰の建て上げ方を一緒に学びたいと思います。

テキストは特に指定しません。毎回、資料を配布します。

参考図書:「今日キリストは私たちににとって何者か」(モルトマン、新教出版社)

「聖書解釈学概論」 4単位 火曜日 川口通治

新約聖書から福音書を、旧約聖書から創世記を取り出し、両者を歴史的・批判的に読んでいきます。そのことによって、今まで見えなかった「新しい聖書の読み方」を提示したいと思います。基本テキストとして、荒井献「イエス・キリストの言葉～福音書のメッセージを読み解く」(「岩波現代文庫」、1300円)、石川立他編「聖書、語りの風景」(キリスト新聞社、2600円)を用います。受講者は「イエス・キリストの言葉」の該当聖書箇所(聖書釈義ペーパー)を作り(A4:1枚以内)と、「聖書語りの風景」各章のサマリーペーパー(A4:1枚以内)を分担して報告してもらいます。また参考資料として講師作成の該当箇所釈義ノートを配布します。

「宗教学」 4単位 木曜日 東方敬信

拙著『文明の衝突とキリスト教』(教文館)を用いながら、私たちの生きている現代の社会構造や思想や教育また現実社会への評価と政治行動などについて考察していきます。宗教を考えることで現代社会と教会の使命についての新たな気づきを持ちたいと思います。さらに「日本の多神教の風土」や「人間の安全保障」の課題にも触れたいと思います。お互いに学び語り合しましょう。

テキスト:「文明の衝突とキリスト教」(教文館)

「旧約聖書概論」 4単位 木曜日 魯考錬

旧約聖書概論は、旧約聖書全体の基本的な内容と編集の過程を考察して、各書物の意図や背景研究を深める同時に、最終編集状態で読み取れること(対話)の中で聖書を読む視点のバランスを培うことを目的とします。講義内容は、旧約聖書の本文、正典、古代イスラエル文学遺産、トラーの編集、預言書の神学的特徴、歴史書や知恵文学、黙示文学などを予定しています。

テキスト:C・レヴィン『旧約聖書』教文館、2004、参考図書は山我哲雄『聖書時代史—旧約篇』岩波現代文庫 2003、上村静『旧約聖書と新約聖書』新教出版社、2011です。

「指揮法Ⅲ」 4単位 木曜日 山中臨在

基礎的な指揮法の復習と応用。少し難しい楽譜への対応。会衆賛美をリードする者としての指揮者の立場とその働き。上級聖歌隊曲の指揮と指導。オラトリオの指揮。

「教会音楽概論」 4単位 金曜日 江原美歌子・小松澤 恵

I.教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。II.聖書(旧約、新約)や賛美歌の歴史から賛美の基本、神学、姿勢を学びます。III.礼拝での賛美の役割を学び、礼拝の中の賛美歌選曲を実践していきます。IV.礼拝における会衆の参与を促す「会衆賛美」の重要性、その働きを学びます。